



理工学図書館パスファインダー

2024 年度 教員監修済

文化人類学入門



りことパスは、主に理工学分野の授業に関連するトピックについて、学習の初めの一歩となる資料や Web サイトを紹介するテーマ別調べ方ガイドです。理工学図書館のラーニング・サポーター(LS)が作成しています。学習やレポート作成にぜひ活用してください。

- 図書名・雑誌名の後にある【書誌 ID】(10 桁の英数字) で、大阪大学 OPAC (蔵書検索システム) を検索することができます。

<https://opac.library.osaka-u.ac.jp/>

- パスファインダーは、図書館 Web サイトでも見ることができます。

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/pathfinder/>



OPAC



りことパス

1. イントロダクション

1-1. はじめに

文化人類学とは、一般に異文化についての理解を目指す学問です。欧米で成立した人類学は100年来、アマゾンの奥地に住まう先住民や極北で暮らすイヌイットなど、主に西洋から見た異文化・社会について学んできました。近年では、地理的空間にとらわれず自らが生活する文化の中でフィールドワークを行う（実験室や病院など）研究も多く見られ、その対象や関心は多様化しています。

1-2. 学問的特徴

文化人類学には、学問を特徴づける主に2つの研究方法があります。

1つは、参与観察やインタビューを行うフィールドワークです。異文化理解に近づくためには、可能な限り対象となる相手の生活世界全般に立ち入る必要があります。そこで、人類学では単に自分の関心だけを相手に聞くだけでなく、仕事や作業に参加し、観察する、参与観察という方法が推奨されています。フィールドワークは往々にして数カ月から数年に及ぶ長期になることがあります。

2つめは、フィールドノートの執筆です。上記で現地でのフィールドワークを行うと述べましたが、その際観察したことや学んだことを記述するフィールドノートを書きます。ただしフィールドノートの書き方はありませんが、なるべく細かに対象を観察する“厚い”記述が奨められます。そして、そのフィールドノートが論文執筆のデータとなり自らの主張の根拠となります。

1-3. 一般向けに書かれた資料・読み物

ここでは、人類学の入り口となる読み物について紹介します。

■ 文化人類学の思考法 / 松村圭一郎, 中川理, 石井美保編, 2019

【書誌 ID=2004474694】

本書は、その独特で魅力的な人類学の視点について学ぶことが出来る本です。様々な人類学者がテーマ別に章立てを行っており、人類学を学んだことのない人でも人類学の議論やテーマについて理解しやすい構成になっています。

2. 学習用図書

さらに学びたい人に向け学習用図書をご紹介します。

2-1. 辞典・ハンドブック

■ 文化人類学キーワード / 山下晋司, 船曳建夫編, 2008

【書誌 ID=2004133321】

この本では、人類学が主に対象としてきた呪術や贈与、親族関係といったテーマからグローバル化や医療、観光など近年の身近な話題まで網羅的に説明されています。初めて学ぶ人にとっての必読書になっています。

2-2. 最初に読む図書

- 西太平洋の遠洋航海者：メラネシアのニュー・ギニア諸島における、住民たちの事業と冒険の報告 / B・マリノフスキ [著]；増田義郎訳，2010

【書誌 ID=2004153944】

現代人類学の始まりとなった原点にして必読の古典です。およそ2年間にわたる長期のフィールドワークを初めて本格的に行ったマリノフスキの、メラネシア・トロブリアンド諸島についての民族誌です。人類学的に意義深いだけでなく、人々の生活をその生き生き描写した文章表現も魅力的で、文学的価値の高い読み物でもあります。

- チョンキンマンションのボスは知っている：アングラ経済の人類学 / 小川さやか著，2019

電子資料 【書誌 ID= 2004495041, MC00353934】

経済都市香港の、とりわけ中心地に位置するチョンキンマンションを舞台にしたエスノグラフィーです。新進気鋭の人類学者、小川さやかのフィールドワーカーとしての凄みを感じる本です。

- ヒップホップ・モンゴリア：韻がつむぐ人類学 / 島村一平著，2021

【書誌 ID=2004521402】

ヒップホップに着目することで、現代のモンゴル社会のありようについて考察した研究です。研究として意義深いだけでなく、日常の営みに目を向けることの面白さを教えてくれる一冊です。

2-3. さらに学ぶために

- 人類学的思考の歴史 / 竹沢尚一郎著，2007

【書誌 ID=2004042290】

19世紀の人類学から21世紀の人類学にいたるまで、人類学の歴史を“線”として解説した一冊です。様々な理論や議論をこの一冊でつかめると共に、英・仏・米の人類学の特色や伝統についても理解することが出来ます。

- イメージの人類学 / 箭内匡著，2018

【書誌 ID=2004454608】

日本の現代人類学において極めて重要といえる原論となる本です。それまで、文化や社会といった概念を手掛かりに研究してきた人類学の転換を提唱し、イメージという概念で世界を理解しようとする、非常に興味深く挑戦的な研究です。

- 科学論の实在：パンドラの希望 / ブルーノ・ラトゥール著；川崎勝，平川秀幸訳，2007

【書誌 ID=2003736946】

科学が絶対的な力を持つ現代において、科学なるものがいかに作られているのか。科学の实在そのものを問う革新的な研究です。人類学者からも高い評価を受け、フィールドワークから科学に挑む人文科学の可能性とパワーを感じさせる本です。

3. 最近の動向を知る

3-1. 学術雑誌

■ 文化人類学 / 日本文化人類学会 [編]

【書誌 ID=3002110241】

日本の人類学の最新の動向について学ぶことのできる学術誌です。年4回（6月、9月、12月、3月）発行され、様々なトピックの特集が組まれることも多く、自分の興味関心にあわせて読むこともできます。また、バックナンバーも Web から閲覧できます。

3-2. 関連学会等 Web ページ

■ 日本文化人類学会（JASCA）

<https://www.jasca.org/>

日本の人類学会を研究する中心的な学会です。毎年6月頃に行われる学会では日本における人類学研究の最新の動向について学ぶことができます。



■ 国立民族学博物館

<https://www.minpaku.ac.jp/>

百聞は一見に如かず。世界的にも最大規模の収蔵物を誇る通称「みんぱく」のHPです。みんぱくでは展示を通じ、人類学が対象としてきた習慣や風俗について学べ、人類学の世界について触れることができます。阪大生は無料で観ることが出来るので大変おすすめです。



※このパスファインダーは、理工学図書館 LS が作成しています。

発行者：理工学図書館

発行：2024年度 人間科学研究科人類学専攻 LS 作成

■ 理工学図書館 LS（ラーニング・サポーター）とは…？

工学研究科などの大学院生が皆さんの先輩として、理工学図書館東館1階LSデスクで、学生からの様々な学習相談に対し、サポートやアドバイスをしています。

他にも…・各LSの経験や専門を生かした講習会の開催 ・図書館の利用案内ツアー

・学部生に役立つ本の選書 ・本の展示 などを行っています。

詳しくは図書館 Web サイトをご覧ください → <https://www.library.osaka-u.ac.jp/rikou/ta/>



Web サイト